

東御市
社協報

ほほえみ

41号

平成23年 7月19日発行

編集発行 社会福祉法人
東御市社会福祉協議会
長野県東御市鞍掛197
(総合福祉センター内)
TEL (0268) 62-4455
FAX (0268) 64-5695
<http://www.tomisyakyo.or.jp>
印刷 (有)グリーン美術出版

社協報「ほほえみ」の名称は明るく夢をもって笑顔で暮らせる地域の福祉づくりを進めていくことから名づけられました。

▲災害時高齢者健康生活
支援講習会
(市総合福祉センター)



▲福祉運営委員長研修会



▲御牧原北部いきいきサロン



▲東日本大震災被災地支援コカリナコンサート

誰もが
安心して
暮らせる
福祉の
まちづくり



▲東日本大震災被災地支援
チャリティイベント



▲災害時における要援護者登録制度研修会

○社協会費のお願い

○平成22年度 社協収支決算報告

○平成23年度 福祉運営委員長研修会ひらく

○月間スナップ「ボランティアかわら版」

「社協会費納入」にご協力をお願いします

東御市社会福祉協議会は、「誰もが安心して暮せる福祉のまちづくり」を目指し、お互い様の精神で、互いに支え合い、助け合い、福祉活動を展開し、地域福祉を推進する社会福祉法人です。地域福祉を推進する活動費は、市からの補助金、委託金等と社協会費、寄付金等でまかなわれております。

社会福祉協議会は、地域の福祉課題に住民と協働して取り組み、地域福祉を推進する役割を担っています。この住民協働の活動を進めるために会員制度があります。

会員になっていただくことは、福祉活動を支え一緒に活動していただくという大きな意味を持っています。

★会員には？

一般会費
1,000円
世帯・個人

賛助会費
1口 2,000円
世帯・個人

法人会費
1口 5,000円
企業・法人等

企業・法人の皆様
には、直接お願い
しております。

地域福祉の活動は、♥市民のみなさまによって♥支えられています！

会員増強運動期間の7月～8月に、社協支部長（区長）さんをお願いしてありますので、自治会の役員さんが伺いましたらご協力をお願いします。社協の窓口でも受付しております。

社協会費は地域に還元されます

納入いただいた会費は
一般会員1,000円のうち
賛助会員2,000円のうち

支部（区）へ還元
250円
500円
約25%の支部活動
助成金

支部福祉活動
いきいきサロン等の
地域福祉活動に
還元へ
会食会・茶会・世代
交流事業・講演会等

市社協事業に
在宅福祉サービス、
障害者福祉、ボラ
ンティア活動補助
金などに活用

地域に根ざした取り組み「おらほの地域福祉づくり事業」

地域づくりのために社協が応援!!



伊勢原支部
いきいきサロンを通して
地域のネットワーク作り



桜井支部
「おらんち会」という
新たな組織を作り活動



山崎支部
毎月いきいきサロンを
定期的に開催



東上田支部
高齢者が元気に安心して暮ら
すことができる地域づくり

平成22年度 社協収支決算報告(概要)

収入と支出の状況

5月19日、25日に開催された理事会と評議員会で、平成22年度東御市社会福祉協議会の事業報告と収支決算書について審議され、原案のとおり承認されました。

支出の状況

(単位：千円)

◆法人運営事業・相談事業・その他

- ・法人運営事業費／福祉総合相談窓口／日常生活自立支援事業／結婚相談事業／金銭管理財産保全サービス事業／生活資金貸付事業等

◆地域福祉活動

- ・いきいきサロン等の支部活動支援／支部活動助成金の交付／おらほの地域福祉づくり事業／地域福祉研修会等の開催／福祉講演会の開催／社協広報「ほほえみ」の発行／福祉団体補助金／あった介護教室／福祉のまちづくり講座／災害見舞等

◆ホームヘルプサービス事業の運営

(障害者自立支援・生活管理事業・ほほえみサービス含)

- ・高齢者、身体障害者、精神障害者世帯等へのホームヘルパーを派遣し介護、家事援助を行っています。
- ・延べ件数 948件
利用回数 17,757回

◆居宅介護支援事業

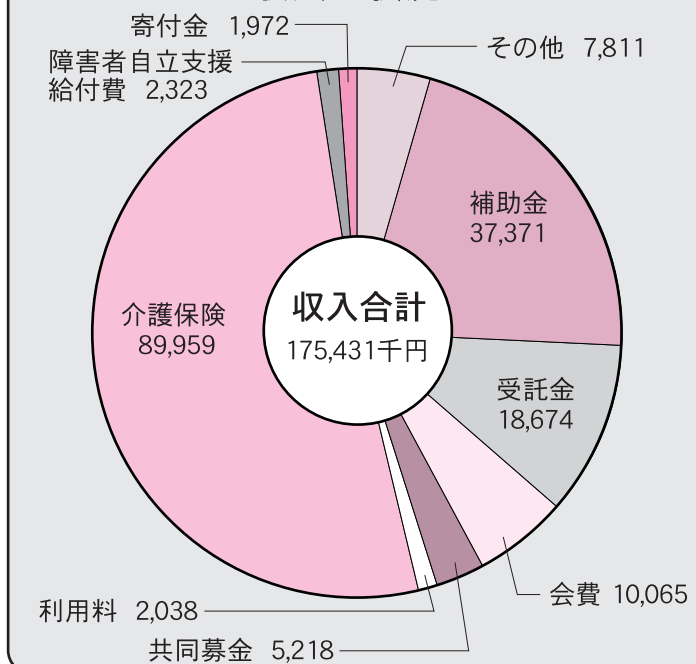
- ・介護保険で認定された方が適切なサービスが利用できるよう連絡調整を行っています。
- ・ケアプラン作成総件数 2,107件

◆在宅福祉活動

- ・おせち料理・ふれあい会食会／高齢者への敬老祝賀／障害者活動支援／福祉自動車貸し出し事業／福祉用具貸し出し事業／希望の旅事業(高齢者・障害者)／高齢者安否確認事業／寝具洗濯・乾燥・消毒事業／介護者リフレッシュ事業

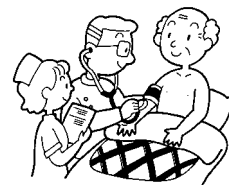
収入の状況

(単位：千円)



◆福祉教育・ボランティア事業

- ・児童、生徒などへの福祉体験、福祉講座
- ・ボランティアグループへの助成／ボランティアセンター運営
- ・災害時ボランティアサポーター養成講座
- ・ボランティア養成講座の開催
- ・夏のボランティア体験教室
- ・福祉の森ふれあいフェスティバルの開催
- ・市内小、中、高 福祉協力校の指定、助成
- ・ボランティア連絡協議会活動支援、助成
- ・ボランティアに関する登録、相談、派遣
- ・点訳、音訳サービス支援



◆介護予防事業の運営

(宅老所くるみの家・介護予防センターくらかけ・プール教室・筋トレ教室)

- ・延べ利用者数 2,456人
- ・おおむね60歳以上の高齢者を対象に、入浴、食事サービスを行うとともに、交流の場を提供しています。



の事業に会費が使われています。



平成23年度 福祉運営委員長研修会ひらく

6月13日、総合福祉センターで平成23年度福祉運営委員長研修会が開催され、45人が参加しました。この委員長研修会は、各区の福祉運営委員長の皆さんを対象に開催するもので、地域で取り組む「いきいきサロン」活動や助け合い、支え合いの諸活動について研修を行いました。今年度は、東日本大震災の被災地へ出向き支援活動が続けている、NPO法人ローカル・コミュニティ事務局長の高田克彦さんを招き「日頃からの地域活動とつながり」と題して、被災地支援から学ぶ日頃からの住民同志のつながりの大切さについて講演されました。



▲会場には各区の福祉運営委員長45人が参加しました



▲講師のNPO法人ローカル・コミュニティ事務局長の高田克彦さん

●●●日常生活自立支援事業●●●

認知症や物忘れ、障がい等によって、自分の生活に必要な福祉サービスをはじめとするさまざまな契約について判断したり、日常的な金銭管理や財産管理を行うことが困難になっている方がいます。こうした方が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう支援する事業です。

★こんなことはありませんか？たとえば…

- ・福祉サービスを利用したいけれど、手続きがわからない。
- ・銀行で預金の払戻しに苦勞しており、公共料金等の支払いができない。
- ・通帳や土地の権利証など、重要な書類の保管が心配だ。…など



援助の内容

★福祉サービス

保健・医療・福祉サービスについての制度・内容に関する情報提供をする専門機関の紹介や助言等を行います。

★金銭管理サービス

利用者本人に代わって、預貯金の出し入れ、公共料金・家賃の支払い、福祉サービス等の利用料の支払い、年金手当て等の受領確認を行います。

★書類等預かりサービス

通帳・印鑑・証書などの書類を安全に保管します。

○お預かりできないもの……宝石・書画・骨董品・貴金属類等

対象者は？

- ・認知症高齢者・知的障害者
- ・精神障害者

上記の方で、判断能力が十分でないことにより日常生活での福祉サービスの利用や金銭管理がうまく出来ない人。



利用料金は？

- ・1時間 1,000円
- ・交通費 1キロ 20円
- ＊生活保護世帯は無料

ご相談や支援計画の作成にかかる費用は無料です。





いきいきサロン



王子平いきいきサロン

6月19日、王子平区では高齢者約20人が地元公民館に集まり、いきいきサロンを行いました。当日は、「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」について、社会福祉協議会職員による講話があり、金銭管理や財産保全について具体的事例をとらえた話を聞きました。参加した皆さんは「住み慣れた自分の家で安心して暮らすためにも、丈夫なうちに、ためになる話が聞けたのでいろいろ検討していきたい」と話していました。講話のあとは、お茶会をしながら打ち解けた会話が続き、楽しいひと時を過ごしました。



▲荻原武男区長はじめ20人が集まりました

上八重原いきいきサロン

4月30日、福祉運営委員長の荻原太郎さんの声かけにより、地元公民館でいきいきサロンを開催し、役員・ボランティアを含め約30人が参加しました。社会福祉協議会の職員による講話のあと、ボランティアグループによるフラダンスを鑑賞し、満開の桜をみながら手作りの桜色の饅頭をいただき春のひとときを過ごしました。荻原さんは「今回の集まりが区民の間で口伝えで広がり、少しずつ参加者が増えてほしい」と話をしていました。



▲話しに花が咲きました

月間スナック

楽しい思い出つくる会（高齢者希望の旅）

5月24日、65歳以上の高齢者で障がいにより歩行の困難な皆さんを対象に、安曇野方面へ日帰り旅行に出かけました。今年は、朝の連続テレビドラマで安曇野がロケ地とのこともあり、安曇野「ちひろ美術館」や「大王わさび農場」を見学したり、買い物を楽しみました。また昼食は、安曇野の食材を使った料理を堪能しました。ボランティアの皆さんの協力もあり、賑やかで楽しい旅行ができました。



家族介護者の会「太陽の会」

5月11日、高齢者センターで家族介護者の会「太陽の会」が行われました。「太陽の会」は日頃、在宅で家族を介護している皆さん同士が語り合い、交流することを目的に活動しています。今回は童謡唱歌の会「こまどり会」の皆さんの協力で、童謡唱歌を楽しみ、午後は日頃の介護の話など、お茶を飲みながら会員同士で交流を図りました。



月間スナッポ

福祉団体ゲートボール大会

6月6日、市営屋外ゲートボール場で恒例の東御市福祉団体ゲートボール大会が開催され、7団体約100人が参加しました。このゲートボール大会は市内の福祉団体の交流と親睦を図ることを目的に毎年開催され、熱戦が繰り広げられました。成績、結果は次の通りです。

優勝：老連Aチーム 準優勝：老連Dチーム
三位：老連Cチーム



災害時高齢者健康生活支援講習会

6月20日、高齢者福祉センターで日赤奉仕団員約70人が参加し、災害が起こった時に最も心身に影響を受けやすい高齢者への生活支援講習会を開催しました。この日は、日本赤十字社長野県支部の横関祐子看護師が、ホットタオルの作り方など日常生活にも役立つ介助の技術を学びました。

(写真はストッキングを使った頭のキズの止血)



チャリティバザー開く

東日本大震災の被災者を支援しようと、東御市ボランティア連絡協議会（小林経子会長）でつくる実行委員会は6月26日、チャリティーバザーを市総合福祉センター講堂で開催し、約300人が訪れました。小林会長は開会宣言で「今日という日を無駄にしないで、ボランティア精神を生かし共に支え合い、哀しみを分かち合い生きていることに感謝しましょう」とあいさつしました。会場にはタオルやシーツ、石けん、洗剤、手作り小物、花などが所狭しと並び、訪れた人々は目当ての品物を買っていました。なおこの日を含めた売り上げは55万円で全て東日本大震災の義援金とし、日本赤十字社へ送られます。



一人暮らし高齢者会食会「おたっしゃです会」

6月27日、つつじの咲く茅野市白樺湖で恒例の一人暮らし高齢者会食会「おたっしゃです会」を行いました。この会食会は、外出や交流の機会の少ない70歳以上の一人暮らし高齢者の皆さんを対象に開催するもので、今年は75人が参加しました。

ホテルでは、久しぶりの再会に話の弾む人や高原の温泉を楽しむ人など、参加者同士で思い思いに過ごしました。また交流会では、美味しい食事を食べながら、歌謡ショーやカラオケで親睦を図りました。



ボランティアかわら版



福祉体験学習ボランティア養成講座

市内の小中学校から依頼される福祉体験学習をお手伝いしていただくボランティアの養成講座を3回連続講座で開催しました。延べ約40人が参加し、アイマスク・車いす・高齢者疑似体験について学びました。



受講者の感想

- ・昨年度もこの講座を受講しましたが、再度学ぶことによりしっかり身につきました。
- ・自分が車いすに乗ってみて、初めて目線が違ふことに気が付きました。
- ・小学校に行くと子どもたちから元気をもらえます。積極的に体験学習のボランティアを引き受けさせていただきたいです。

ボランティア笑顔のルー



☆東御市のボランティア連絡協議会加入団体にインタビューをします。

「こまどり会」

福島英雄さん

連絡先 電話62-1828

その中



Q 活動内容を紹介してください

平成17年5月に立ち上げ、現在の会員数は約20人。毎月1回、定例会を開き童謡唱歌・叙情歌を皆で歌っています。ボランティア活動では、「フォーレストデイサービスセンター」「デイサービスセンターともがき」に月1度ずつ訪問して約1時間、利用者の皆さんと童謡唱歌を歌っています。

Q ボランティア活動をして楽しい、良かったと思う時はどんな時ですか？

おとし寄りの皆さんの喜ぶ顔を見ながら一緒に歌う時が楽しいです。そしておとし寄りに元気をもらっています。

Q ボランティア活動をする際に大切にしていることは？

楽しくなるような雰囲気作りに心がけています。おとし寄りの目線に合わせる、会員だけで歌ったり独唱を入れて変化をつけるなど工夫しています。歌わないおとし寄りもありますが、気分が晴れているのではないかと思います。

Q メッセージをお願いします

おとし寄りの皆さんの気持ちがせいせいして、心配しないで、楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。



★★★★☆次回は「あがたボランティア」の伊東さんです。★★★★☆

みんなの掲示板

ボランティア募集等
情報を掲載します。
掲載希望：
TEL62-4455

◆フォーレストデイサービス ボランティア募集！◆

- 内容 ・デイサービス利用者とのお話やレクリエーション補助
- ・配膳（お茶出し）
- ・玄関からデイサービスフロアへの誘導
- ・デイサービスにいらっしゃる高齢者にお茶出しをしながらお話することが主にお願したい内容です。

- 場所 介護老人福祉施設
フォーレストデイサービスセンター
- 曜日 月曜日～土曜日 都合のよい曜日
- 時間 ①午前9：00～12：30
②午前10：00～12：30
- 必要物品 ・上履き ・動きやすい服装
- その他 ぜひ、利用者とお昼を召し上がっていただきたいと思います。昼食は無料で提供します。
- 連絡先 介護老人福祉施設
フォーレストデイサービスセンター
担当 渡辺奈々恵 岩佐 淳
電話：64-7200



匿名 名様42,253円
匿名 名様軍手

ウエス(清拭布)をありがとうございます

(5月・6月の受付分です)

匿名 名様
匿名 名様(桜井)
匿名 名様(県)
花づなの会 様
県ボランティア 様



＋日赤社資にご協力ありがとうございました

5月の赤十字運動月間中に、皆様からご協力いただきました日赤社資は、**4,497,700円**でした。このお金は国内外の災害救護活動資金や講習会など、様々な赤十字活動に使われます。

介護の“い・ろ・は”を学んでみませんか 介護講座“あったかいご(介護)”教室 を開催します

◆主 催：東御市社会福祉協議会

◆日 程：

第1回 8月18日(木曜日) 13:30～15:00

「介護者の為の健康教室」講師 健康運動指導士

第2回 9月1日(木曜日) 13:30～15:00

「介護技術を学ぶ①」講師 介護福祉士

第3回 10月6日(木曜日) 13:30～15:00

「介護技術を学ぶ②」講師 介護福祉士

※各回毎の参加もできます。

◆場 所：東御市総合福祉センター2階

(高齢者センター)

◆対象者：市内在住の介護者及び介護の担い手として興味のある人 20人

◆受講料：無料

◆申し込み・問い合わせ：

東御市社会福祉協議会・地域福祉係まで

電話62-4455 FAX64-5695

◆申し込み締め切り：8月16日

東日本大震災義援金の報告

(6月30日現在)

◆3月14日～6月30日受付分合計
35,854,992円

皆様からの温かいご協力で厚くお礼申し上げます。義援金は、9月30日まで、東御市役所・総合福祉センター・北御牧総合支所で受付し、日本赤十字社を通して被災者の皆さんを支援いたします。

東日本大震災被災地支援活動報告

東日本大震災における被災地社会福祉協議会支援の為、6月4日から10日までの一週間、長野県内社会福祉協議会職員派遣団の一員として、岩手県大槌町社会福祉協議会で支援活動を行ってきました。私の派遣された災害ボランティアセンターでは毎日数十名から百数十名のボランティアさんを受け入れ、津波により浸水した住宅の泥出し作業等にご協力をいただきました。

大槌町は町長以下、多数の役場職員も犠牲になり、被災後の行政機能が一時マヒしてしまったほどの状況で、未だ瓦礫の撤去がすすまない地域もあります。滞在中、多くの被災者から「なーんもなくなっちゃったからなー」とお話を伺い、津波により全てを失いこの先の生活に不安を感じながらも“よーし、やるが!”と前向きに気持ちを切り替えようとしている被災者の姿が印象的でした。

私の派遣先でお世話になった地元社協の職員Sさんに、津波で流されてしまったご自宅の跡地を案内していただき、Sさんの子供が大事にしていた“くまのぬいぐるみ”を瓦礫の中から発見した時のSさんの言葉が忘れられません。“くまさんはここで死んじゃったんだよ。だから持って帰らねえよ”と。(地域福祉係長 高岡久章)



▲被災地は未だに瓦礫の山



▲被災地で活躍するボランティアの皆さん

編集後記

「暑いですね」。そんな会話が毎日される程、今年も昨年に続き猛暑の気配ですね。地球温暖化が確実に進んでいることを実感します。そして、今年が昨年と違うのが福島原発事故に伴う電力不足。わが家でも“よしず”を付け“すだれ”を下げ、“水鉢”を置き、少しでも涼しくなるように工夫しました。そして、我慢できることは我慢しようと決意しています。暑い夏、さわやかに乗り切りたいと思います。(重原 君江)